

『 機械化・自動化の考え方 』

～ 変化に適応 … 人と機械の最適組合せの考え方 ～

[公開研修、社内研修、ご希望の場所に出講します]

■社会・顧客は変化している

社会の趣向、顧客のニーズ、受発注内容など、社会・顧客は変化しています。フォードのライン生産、トヨタの JIT 生産、サプライチェーンマネジメントなどその時代に適した生産の体制・形態を考案した会社が生き残っています。逆に変化に適応できない会社は、ブルーオーシャンでもない限り、生き残りは難しいようです。

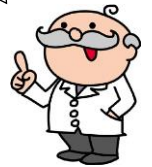


賢いもの、強いものではなく、変化に適応したものが生き残る！！
 チャールズ・ダーウィン

■変化対応の方法としての機械化

技術の進化、趣向・流行の変化などから、多品種小量化、短納期化、短命化などの変化が生じ、現在は、その変化の大きさとスピードが増しており、今後はさらなる加速が予想されます。また、内部的変化は人手と人材の不足があげられます。各企業はそれぞれに、変化に適応していくことが重要です。

経営環境の変化
 人手・人材不足



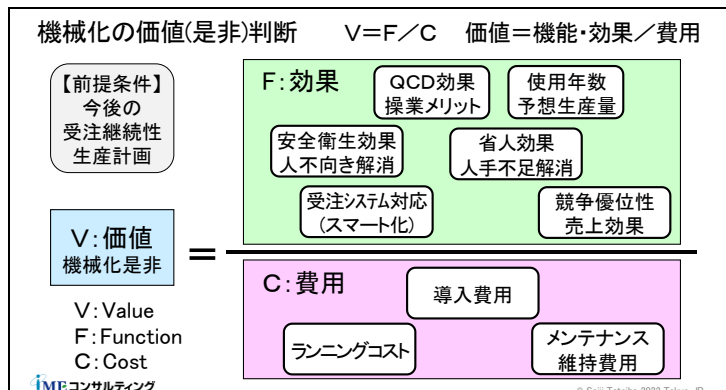
対応するには、生産方法の検討、人の分担を減らす機械化・自動化、生産の指示・実行の仕組みの検討、生産人材の育成などの対策が考えられます。

自社の状態を分析して、今後どんな対策をすべきかを考えなければならぬと思われま

■その機械化は価値ある投資？

流行りの機械や他社の様子を見て、設備を導入する…機械を一台買うだけであれば、それほど詳細な検討は必要ないかもしれません。

しかし、工場の自動化など大きな投資をお考えでしたら、十分な検討が必要です。

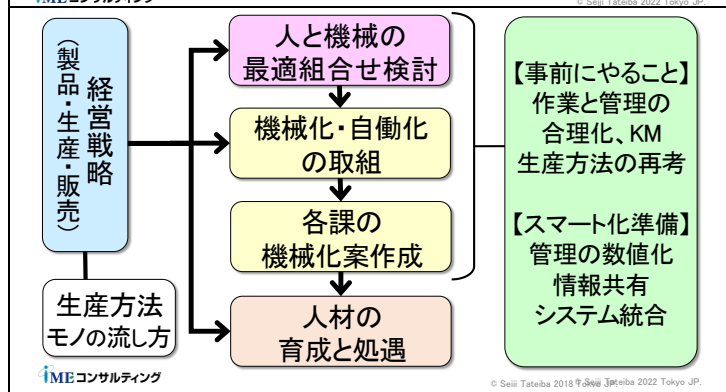


■作業の機械化・自動化の検討

人の作業をやみくもに機械に置換えていく会社をよく見かけます。

機械化・自動化で失敗しない為には、体系的に検討を行う事が望まれます。

変化対応の理想としては今後の最適生産方法から考える事が良いかもしれません。



■管理の機械化・自動化

管理業務の自動化には、暗黙知/個人知の標準化と監視の測定化が必要と考えられ、結果スマート化が容易になります。(DX)

■研修のねらい

機械化・自動化を意図的・体系的に進めることを狙いとしています。また、機械より人の方が向いている作業も多くあるため、自動化しても人は必要です。機械化と同時に人材育成を行う事が重要です。

機械化・自動化は、体系的に考える事！
人材育成とセットで考える事が、必要です！

ご用意した研修の受講により、変化対応の為の適切な道筋を見出されることを願っております。

■研修名と内容

[公開研修、社内研修、ご希望の場所に出講します]

コンサルティング技術を研修にまとめました。お会社の役職ごとに4種類の研修をご用意しました。

「機械化・自動化・最適生産方法」

フルバージョン…【プロジェクト及び主要メンバー向け】

今後の経営の為の機械化・自動化の取組みについて考える研修です。

主対象	主旨・概要	カリキュラム (例)	所要時間
責任者層 (部長、工場長、 経営後継者等) プロジェクト員 管理層 生産管理 生産技術	全社 or 工場の機械化・自動化・人材育成を考えます。 作業と管理の機械化・自動化により、スマート化〜クラウド受注への進展の基盤構築を考えることが出来ます。	[I] 経営・機械化の方向性 [II] 生産方法、モノの流し方 [III] 人と機械の最適組合せ評価 [IV] 機械化の前にやっておく事 [V] 機械化・自動化の取組み [VI] 各課の機械化案作成 [VII] 人の役割・育成・処遇	3days (オーダーにより 1day 追加し、事前改善や機械化取組方法の詳細説明付加が可能です) (1day=6h)

「最適生産方法」

経営・生産の方向性検討 (経営課題対策)

経営層・工場長は将来を見据えた投資の判断をする事が必要です。機械化・自動化と人材育成を考えます。

主対象	主旨・概要	カリキュラム (例)	所要時間
経営層 責任者層 (部長、工場長、 経営後継者等) 管理層	継続経営の為の最適生産の考え方を学びます。 自社の生産方法・機械化・自動化、人材育成を考えます。	・経営・機械化の方向性 ・生産方法、モノの流し方 ・人と機械の最適組合せ評価 ・人の役割・育成・処遇	短縮版 1day 通常版 2days (通常版=公開研修) 短縮版は通常版の内容等を簡易化します (1day=6h)

「機械化・自動化の進め方」

工場の機械化・自動化・人材育成の検討

現行業務の機械化・自動化を考える研修です。

主対象	主旨・概要	カリキュラム (例)	所要時間
責任者層 (工場長等) 管理層 生産管理 生産技術	適切な機械化を進める為の調査分析・評価・判断などを学びます。 有効な機械化・自動化と人材育成を体系的に考えます。	・人と機械の最適組合せ評価 ・機械化の前にやっておく事 ・機械化・自動化の取組み ・各課の機械化案の作成 ・人の役割・育成・処遇	通常版 2days 実践版 3days 実践版は事前改善や機械化取組方法の詳細説明を加えます (1day=6h)

「各課の機械化案作成」

各課・工程の機械化・自動化検討 (問題解消)


省人化や安全衛生推進等の問題解消の為に各課で工程の機械化・自動化を考える為の研修です。

主対象	主旨・概要	カリキュラム (例)	所要時間
管理層 生産管理 生産技術 改善担当者	機械化・自動化の準備・検討・具体化に特化した研修です。自部署の工程をどの様にして機械化を進めるかを考えます。	・機械化の前にやっておく事 ・各課の機械化案作成	通常版 1day 実践版 2days 実践版は事前改善や機械化取組方法の詳細説明を加えます (1day=6h)

■研修のご選択について

会社の機械化・自動化は、経営理念・戦略等の実現の為に計画し実行する事が望まれるので、役割ごとに分担受講されてもよいと思われませんが、経営層とプロジェクトが積極的に考え検討する事が必要です。

その為、プロジェクト及び主要メンバーがフルバージョンの「機械化・自動化・最適生産方法」を受講されることをお勧めします。受講された方々が各課・役割ごとに説明・指導して進められることが理想と思われれます。

	<p>株式会社 IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田</p>	<p>HP : http://www.ime-net.com</p>
---	---	---